

松本城の収蔵品

利用規定

以下の画像の無断転載を禁じます。商用・非商用にかかわらず、利用を希望する個人・団体は松本城管理事務所までお問い合わせください。

松本城とその周辺の地図

江戸時代（1603～1867）、特に水野家統治下の 1642～1725 年の松本城とその周辺の町並みの地図がいくつか残されている。

戸田家の宝物

松本城を最も長く支配した戸田家は、1868 年の明治維新を機にその支配を譲った。松本市博物館には、戸田家の貴重な宝物が多数展示されている。

『諸士出身記』並びに「出身書」「出身帳」	<i>Shoshi shusshin-ki narabi ni shusshin-sho, shusshin-chō</i>	戸田家家臣団の家系と功績の記録
徳川吉宗朱印状	<i>Tokugawa Yoshimune shuinjō</i>	徳川吉宗から戸田光親（松本城主・1726-1732）への領地付与の書状
戸田家伝世の甲冑	<i>Toda-ke densei no kacchū</i>	戸田康長（松本城主・1617-1632）所用甲冑一式
葵紋付筒	<i>Aoimon-tsuki-zutsu</i>	徳川幕府三つ葵紋子供護身符入箱
松竹梅桐紋蒔絵乗物	<i>Shō-chiku-bai-mon makie norimono</i>	金箔花模様漆塗駕籠
御実印 戸田光行	<i>Gojitsu'in Toda Mitsuyuki</i>	戸田光行（松本城主・1786-1800）御実印

松本城火縄銃コレクション

松本城には、地元の赤羽通重・か代子夫妻から寄贈された 141 挺の火縄銃と関連小物が多数収蔵されている。その一部を大天守の 2 階に展示している。

松本藩の古文書

松本市文書館には、旧武家や庄屋宅の記録をはじめ、17,000 点を超える歴史文書が保管されている。これらの史料は、研究用として文書で申し込むと閲覧することができる。

近世の松本城関連資料

松本城は、1903～1913 年と 1950～1955 年の二度にわたって大改修が行われた。以下の写真・図版集は、その作業の様子を伝えるもので、明治初期の城の姿を見ることができる。

1950 年代の改修工事による設計図

以下の資料は、1950 年代に行われた松本城天守の修理工事の際に作成された設計図である。見やすくするため、オリジナルを白黒に加工している。

タイトルに「実測」とあるものは修理前のもので、「竣功」とあるものは修理完了後の状態を示している。「平面図」は建物を上から見たもの、「立面図」は建物を横から見たもの、「断面図」は建物を垂直に切った断面を示したものである。